

関連項目：教育活動プラン①

異学年集団のふれ合い活動の充実

目的

本校の児童数は120名。1年生から6年生まで一学年一学級である。これまでも、異学年集団で活動する機会が多かったが、十分な振り返りの場を設けることができず、自己肯定感を育てる面において課題があった。その課題を解決するために節目節目に振り返りの場を設定し、児童の自己肯定感を育てていきたい。

内容

● 1年生を迎える会（春の遠足）

- 児童会が計画し、当日は「じゃんけん負け戻り」「なかよしビンゴ」「O×クイズ」を行った。
- 1～8班までのふれあい班で、目的地までの遠足、各班の6年生が考えた遊び、昼食をした。
- 昼食後には、振り返りタイムを設定し、各ふれあい班ごとに一人一人が、感想を発表した。
- 感想では、「6年生が手をつないで歩いてくれたこと。」「班で遊んで楽しかったこと。」など、人のかかわりを通して感じたことを発表する児童が多かった。
- 後日、感想文を書き、昼の放送を通して、高学年にお世話になったことなどを紹介した。



振り返りタイム



じゃんけん負け戻り



下級生と手をつないで

● ふれあい班活動ふりかえりカード

- 毎学期の終わりに「がんばったところ」「次の学期にがんばりたいところ」「自分や班の友だちのよかったところ」について、カードに記入している。
- 担当者からコメントを書いてもらい、児童は自分のがんばり確かめ、自己肯定感の芽を育てている。
- カードはファイルにとじ、1年間の足跡を振り返ることができるようにしている。

ふれあい班遊びは楽しかったですか？	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
班のみなさんとなかよくあそんだり、そうじをしたりできましたか？	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
なが長なわとびの練習のとき、がんばってできましたか？	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
ふれあい班では、どこでどんなそうじをしましたか？	ばし 体育館 フロア しなこ モップ		
しずかに話を聞きましたか？	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
<がんばったところ・3学期がんばりたいところ> 長縄の練習で下級生のみなさんとあそびました。			
1学期はあまり1年生や下級生のめんどうをあげられなかった。			
いなりの2学期は下級生のめんどうをあげよう。			
あいさつ、 <前回の反省から> ながわとびをまわして練習した。とびにくい子は、かわりばんこで練習しよう。			

上級生は、下級生の話を聞いて字を教えてあげたり、書き方を教えてあげたりしよう。

1学期のA児

ふれあい班遊びは楽しかったですか？	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
班のみなさんとなかよくあそんだり、そうじをしたりできましたか？	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
なが長なわとびの練習のとき、がんばってれんじゅうしたりできましたか？	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ふれあい班では、どこでどんなそうじをしていますか？	6年教室 机周り		
<がんばったところ・3学期がんばりたいところ、自分や班の友だちのよかったところ> 運動会で大活躍してがんばった。3学期は 一生懸命話していないで、もっと仲良く話して、たのしみ話しかけるようになりたい。そして、1年生から下級生に話を聞いてあげたり、話を聞いてあげよう。			
<前回の反省から> ながわとびの練習は、班にまわって練習しよう。			

ふれあい班の話を聞いて字を教えてあげたり、書き方を教えてあげたりしよう。

2学期のA児

成果

これまでのふれあい班活動（運動会のふれあい班対抗種目、ふれあい班遊び、ふれあい班清掃等）の終わりの時間に振り返りの時間を設けることにより、人の役に立った、喜んでもらった、できるようになった、など次への意欲につながる機会が多く持てた。長期間を通しての自己評価も大事にしつつ、活動即評価（友だちから、教師から）も自己肯定感を育てるのに有効である。